

羅 針 盤			方 策		点検・評価	達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価	
評価対象	評価項目	具体的数値項目	自己評価	外部アンケート等	総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 本校の教育活動に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	① 基礎基本の充実と深い学び及び心身の健全育成のための諸施策を充実させる。	A	A	A	学校は、生徒や保護者が満足するような教育活動を進めていると回答した生徒が92%、保護者が91%である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校時代は目立たなかった生徒が、前南で活躍している話を聞き、前南に入学して大きく成長していることに感銘した。</li> <li>・前南のSAHの取り組みが、もっと広がっていきと良いと感じている。中学校においても、SAHの取り組みが具現化できると良い。例えば、前南でのSAHの取り組みについて(解説等)、高校が中学校に来て説明してくれる機会があっても良いのではないかと。</li> <li>・前南のSAHで育った生徒が、将来、教員として学校現場に戻ってきてくれると更にありがたい。</li> </ul>	
		② 学校生活が充実していると感じている生徒が80%以上である。	② 授業や行事に生徒が主体的に参画できるような環境作りや工夫を進めるなど、支援体制の強化を図る。	A	A	A	学校生活が充実していると感じた生徒が95%、保護者が93%である。		
		③ 本校の教育活動を通じて主体性が育っていると感じる生徒が80%以上である。	③ SAH(Student Agency High School)事業の趣旨を踏まえつつ、本校生徒の主体性を高める様々な取組(授業、学校行事、部活動等)の体系化・深化に努める。また、生徒の主体性を発揮できる環境整備を更に進める。	A	A	A	各教科の学習や探究学習に意欲的に取り組んでいると回答した生徒が89%、保護者が83%である。		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 授業毎のねらいを掴み、主体的・協働的な学びから、学習理解が深まったと考える生徒が80%以上である。	④⑤ 生徒の知的好奇心を刺激し、意欲的に学習する姿勢を確立することができるように、各教科における更なる授業改善を進める。また、ICTの活用と探究的学習の体系化・深化を推進していく。	A	A	A	授業毎のねらいを掴み、主体的・協働的な学びから、学習理解が深まったと回答した生徒が92%、保護者が78%である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の研究やICTの活用を更に推進し、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を全職員挙げて継続して取り組んでいく。また、その実践例を共有していく。</li> <li>・各種補習等においては、内容を更に充実させ、生徒の進路実現に繋がるような満足度の高いものとしていく。また、進路指導関係の各種方策や探究活動の指導についても、進路指導部を中心に改善を進める。保護者への公開授業についても充実させる。</li> <li>・課題の質と量について再度見直しを行い、個別最適化を推進し、進路実現により繋がるものとしていく。</li> <li>・家庭学習は不十分な状態が続いている。担任を中心にHR指導や二者面談を通してその意義を再確認させるとともに、教科指導を更に充実させ学力向上、進路実現へ繋げる。</li> <li>・生徒の学習の取り組みが、より自主的・主体的なものとなるよう、様々な仕掛けを各教科で継続して検討していく。</li> </ul>	
		⑤ 授業に満足している生徒が80%以上である。	⑥ 認知能力と非認知能力の両者を向上させる効果的な教授法についての研究を推進する。また、課題を選択する機会を増やしたり、問題集を生徒が個別に選択する他、「Classi」のAIを駆使した「個別最適課題」の活用、自主学習を促進する。	A	A	A	授業に満足している回答した生徒が87%、保護者77%である。		
		⑥ 生徒の主体性を育てる授業や補習、個別最適化した課題等に積極的に取り組んでいる生徒が80%である。	⑦ 新教育課程、新入試の研究を深めつつ、生徒の進路実現に耐える学力の向上を目指し、授業や補習、課題等の内容の充実を図る。	B	A	B	サタデープランや各補習に積極的に取り組んでいると回答した生徒が88%、保護者が72%である。		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦ 学力向上のため、各教科の授業や補習、課題等に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	⑧ 生徒の授業以外の学習の実態を把握するため、定期的な学習量調査や個別面談を行うなど、家庭学習についてのアドバイスやサポートを充実させる。	B	A	B	知識・技能の習得のため、各教科の課題にきちんと取り組んでいると回答した生徒が90%、保護者が75%である。		
		⑧ 生徒の1日平均の授業以外の学習時間が2時間以上である。	⑨ 生徒作成の「身だしなみルール」に基づき「セルフチェック」を実践している生徒が80%以上である。	⑨ 生徒作成の「身だしなみルール」により、従来の「検査的」な服装髪型指導を脱し、生徒が自分を律する「身だしなみのセルフチェック化」を推進していく。	B	A	B		1日平均の家庭学習時間(6・9・11月調査平均)は108分(1年114分、2年102分、3年一分)。予習や復習などの家庭学習に1日平均2時間以上取り組んでいると回答した生徒が62%、保護者が53%である。
		⑩ 生徒の1日平均の授業以外の学習時間が2時間以上である。	⑩ マナーアップ運動、交通安全教室を核に日常の様々な機会を捉えて、思いがけない事故が深刻な結果につながる可能性があるという認識と交通ルール・マナーの遵守意識を高める。	B	A	B	服装・髪型規定やスマートフォン・SNSの利用ルール等を守っていると回答した生徒が91%、保護者が85%である。		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 生徒作成の「身だしなみルール」に基づき「セルフチェック」を実践している生徒が80%以上である。	⑪ 生徒の自主性を育てるとともに、達成感や自己肯定感を持たせられるよう顧問がきめ細かな指導を行う。「生徒の主体性を発揮できる部活動」を更に促進していく。	B	A	B	指導に際しては、学年間や担当者間の足並みを揃えながらの組織的な取り組みを継続していく。次年度も規律ある学習環境を継続して整備していくとともに、特にスマホ・SNSのマナー向上を重点化する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故について。生徒が自転車通学する際、一時停止で止まらない、ヘルメットを被らないなど、非常に心配である。ヒヤリ・ハットの観点で、予防の指導を徹底してほしい。</li> <li>・SAHの取り組みは大変興味深い。ただ、交通マナー等を含め、足元の課題、気付かなければならない問題も大切にしていきたい。気付かなければならない問題は、教員からの(積極的な)生徒への提案も必要ではないか。</li> <li>・前南生の交通マナー、髪型・服装については、他校との比較や過去の経緯も踏まえて慎重な対応を望む。</li> <li>・主体的に命を守る取り組みをお願いしたい。</li> <li>・学校保健委員会の時に発表をしていた生徒が病院でまたま出合った時にきちんと挨拶してくれるなど、前南生の良い面が感じられる。そういった前南生の良さを今後も大切にしていきたい。</li> <li>・担任ローテーション制はおもしろい取り組みである。全職員で生徒の様子を見るのは良い。</li> <li>・欠席の多い生徒に先生方が親身になって対応していることが良く分かった。</li> </ul>	
		⑩ 交通ルール・マナーを守ろうと心掛けている生徒が80%以上である。	⑫ 個々の生徒の状況に対応した支援を行い、迅速な対応に努める。	A	B	A	交通ルール・マナーを守っていると回答した生徒が85%、保護者が84%である。		
		⑪ 部活動が充実していると感じている生徒が80%以上である。	⑬ 人格の尊重、他人への思いやり など、豊かな人間性の育成を図る。	A	A	A	生徒は、学校の活性化に向け、部活動を充実させていると回答した生徒が83%、保護者が75%である。		
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑫ いじめを見逃さない環境作りが充実していると感じている生徒が80%以上である。	⑭ HR、集会等様々な機会に自己管理能力の大切さを生徒に理解させる。遅刻や欠席の多い生徒個々の理由を把握し、担任・学年団・生徒指導部が連携して個別指導に努める。	A	B	B	学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に進めていると回答した生徒が80%、保護者67%である。		
		⑬ 一人ひとりの人権を尊重する環境作りが充実していると感じている生徒が80%以上である。	⑮ 1年間皆勤の生徒が25%以上である。	⑯ 12月末までの1日平均遅刻者はクラスで1.1%。学校は、遅刻や欠席の多い生徒への個別指導に努めていると回答した生徒が71%、保護者が48%である。	A	B	B		学校は、豊かな人間性の育成を目的とした人権教育に積極的に取り組んでいると回答した生徒が92%、保護者が75%である。
		⑭ 1年間皆勤の生徒が25%以上である。	⑯ 1日平均遅刻者数はクラスで1人以下である。	⑰ 12月末までの1日平均遅刻者はクラスで1.1%。学校は、遅刻や欠席の多い生徒への個別指導に努めていると回答した生徒が71%、保護者が48%である。	A	B	B		学校は、皆勤者を表彰し、皆勤の継続を奨励していると回答した生徒が82%、保護者が68%である。また、遅刻指導については、時間を守ることの大切さに日頃から触れるとともに、規律ある学校生活が送れるように、家庭とも連携しながら進める。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑭ 1年間皆勤の生徒が25%以上である。	⑱ 探究的学習への取り組みやエビデンスカードなどの記入をとおして自己認識を深めさせ、生徒が主体的に進路実現に取り組めるよう支援する。	A	A	A	学校は、12月末までの1日平均遅刻者はクラスで1.1%。学校は、遅刻や欠席の多い生徒への個別指導に努めていると回答した生徒が71%、保護者が48%である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間の指導計画等を含め、各学年の進行状況が良く分かった。秋入試を含め、今後も多様な入試形態に対応できるようにエビデンスに基づく学習指導、進路指導を望む。</li> </ul>	
		⑮ 1日平均遅刻者数はクラスで1人以下である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	A	A		「総合的な探究の時間」やLHR等の進路学習の計画が充実していると感じている生徒が80%以上である。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	A	A	「総合的な探究の時間」や「特別活動(LHR等)」について、更なる充実を推進していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前南のHPは分かりやすい。生徒の顔はモザイク等がない(隠さない)方が、やはり臨場感があって印象が良い(個人情報保護、本人同意の必要はあるが)。</li> </ul>	
		⑰ 1年生3学期の段階で、自己の適性を考えて文理選択をできた生徒が80%以上である。2年生3学期の段階で、進路希望を考えた科目選択をできた生徒が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	A	A		自分の適性や進路希望を考えた文理選択や科目選択をしていると回答した生徒が94%、保護者が89%である。
		⑱ 「自己のあり方」と「将来の職業」との関連を考えさせる活動を実施し、進路実現に向けて主体的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	A	A		生徒が自己のあり方や将来の職業について考えながら、進路実現に取り組んでいると回答した生徒が92%、保護者が76%である。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑱ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	A	A	学校は、学年通信等を通して各学年に応じた適切な情報を発信していると回答した生徒が92%、保護者が90%である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、分掌等において、生徒・保護者向けの通信を発行するなど、今後も積極的な情報発信を推進する。また、一斉メール他、クラウドサービス等の有効な活用、Webページの更新等、継続して進めていく。</li> </ul>	
		⑲ 一斉メールやWebページの情報提供に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	A	A		学校は、一斉メールやWebページを充実させ、家庭や地域に情報を発信している回答した生徒が91%、保護者が95%である。
11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑲ 一斉メールやWebページの情報提供に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	A	A	学校は、学年通信等を通して各学年に応じた適切な情報を発信していると回答した生徒が92%、保護者が90%である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Classiによる模試成績の配信は、子どもと一喜一憂しながら見ている。最終的に子どもが進路実現に繋がればと願っている。</li> <li>・Classi個別最適学習機能を使っている生徒の状況(評判)が気になる。</li> </ul>	
		⑲ 一斉メールやWebページの情報提供に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	A	A		学校は、学習端末やICT機器(プロジェクト等)を活用した指導を行っている回答した生徒が94%、保護者が66%である。
11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑲ 一斉メールやWebページの情報提供に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	B	B	学校は、学習端末やICT機器(プロジェクト等)を活用した指導を行っている回答した生徒が94%、保護者が66%である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修を通して教職員のICTの活用を更に推進していく。また、ICT機器の整備を事務室と連携しながら進める。ICT機器やクラウドサービスの効果的な活用など、業務の効率化を推進する。</li> </ul>	
		⑲ 一斉メールやWebページの情報提供に満足している生徒、保護者がそれぞれ80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	⑲ 定期的な学年通信等を発行し、学年通信等に目を通した保護者が80%以上である。	A	B	B		学校は、ICTを活用し、教育活動の効率化を図っていると回答した生徒が91%、保護者が64%である。